



江里ブログ

在宅でできること

強い思いが人々を動かし実現させた。思いの大切さ。

骨髄移植後では様々な合併症がおきます。どうしてもリンパ浮腫が改善しなくて頻回に下肢の蜂窩織炎を繰り返していた方や、皮膚の乾燥が著明にひどかったり体力・筋力の低下が著しかった方など。この春、他院での同種骨髄移植後に閉塞性細気管支炎という肺炎がひどくなり、ガス交換が出来なくて当院に入院された若い患者さんがいました。肺移植も検討されていましたが皆で色々話し合い、最終的には呼吸器をつけてリハビリに励み、自宅に戻りました。行動の制限はあるけれど自分で食べたいもの、やりたいことをしっかり表現出来るようになりました。その患者さんの診療には多くの人達が関わってくれています。私は呼吸器の知識が浅く、さらに自宅で使える機械についても全く分かりませんでした。呼吸療法部・リハビリテーション科のスタッフが協力して手配してくれました。ご家族は自宅を改修し、部屋には酸素圧縮機・吸引器にベッド。洗面所には頭洗い用のリクライニング車椅子、座れる風呂（リクライニング浴槽）なども取り揃えられました。本気で「これがしたい！」と思えばここまで医療のサポートが得られるのかと感心されながら退院していかれました。ご家族が初めて相談に来られたときのことを思い出します。「自宅で穏やかに過ごさせたい！」その強い思いが人々を動かし実現させたと思うのです。なんでも思いって大切だな・・・。

<2015/5/16 江里ブログより抜粋・加筆修正あり>